

# 藤棚新聞



第22号

発行

2012年2月20日

藤棚新聞運営委員会

## これからの市民活動を探した「市民活動・ボランティア フェスタ」

市民活動やボランティアを進めて「幸せな社会を作る次世代びとになろう」と、横浜市市民活動支援センターの呼びかけで206名の市民が参加して、「市民活動・ボランティア フェスタ」が1月27日(前夜祭)、28日の両日、同センターで開催されました。

### 前夜祭

「協働推進の基本指針」見直しのための意見交換会

平成16年7月に定めた「協働推進についての基本指針」の見直しを行うためだそうです。この基本指針は、平成11年3月にできた横浜コードに基づいて定められました。横浜コードとは「市民と行政のための協働ハンドブック」にある「協働の6原則」のことです。

対等の原則 市民活動と行政は対等の立場に立つこと

自主性尊重の原則 市民活動が自主的に行われることを尊重すること

自立化の原則 市民と行政、双方が自立した存在で協働を進めること

相互理解の原則 市民活動と行政がそれぞれの長所、短所や立場を理解しあうこと

目的共有の原則 協働に関して市民活動と行政が活動の全体または一部について目的を共有すること

公開の原則 市民活動と行政の関係が公開されていること

記念講演 「子どもも大人も安心して暮らすために」～つながりを大切に～

講師の被災地NGO協働センター代表の村井雅清さんは、阪神・淡路大震災から東日本大震災までのたくさんの活動事例をもとにして、「上から言われたとおりそのまま受け入れるのではなくて自分たちでいろいろ考え話し合っって作っていくことが大事だ」と話しました。

シンポジウム 「自ら語り出すことから始まる新しい公共」

パネリストは村井雅清さんの他に greenz.jp 発行人の代表理事の鈴木菜央さん、日本経済新聞社編集委員の原田勝広さんをお迎えして、横浜市市民活動支援センター管理運営責任者の吉原明香さんのコーディネーターで活発な議論がされました。

村井さんは「がんばるぞう」人形や足湯が人の心をほっこりとさせたこと、原田さんは、「持続可能な社会に向け『つながりのプラットフォーム』」として、企業がビジネスがらみで実施する支援や社会貢献ビジネスなどの新しい社会の姿、そして鈴木さんのWEBを使った「自分ごとから始まり、問題意識を共有する仲間とクリエイティブな方法で社会問題を解決する」活動など、夜9時まで熱心な検討が続きま



した。夜9時まで熱心な検討が続きま

### 当日

これからの市民活動の担い手が何を思い行動するのか、継続的に活躍できる環境や仕組みを調えることや楽しい大人と子どもの関係のあり方が話し合われました。

カフェ 「未来の担い手が向かう先」

姉川圭一さん(ほどがや市民活動センター)、五十嵐洋志さん(NPO法人アークシップ)

東樹康雅さん(横浜市市民活動支援センター)、原美紀さん(NPO法人びーのびーの)

カフェ 「楽しい大人と子どもの関係がまちをつくる」

東浩司さん(株式会社ソーラーレ)、菊地勝也さん(瀬谷区青少年指導員連絡協議会)、山田美智子さん(西区地域子育て支援拠点「スマイル・ポート」)

石井大一郎さん(横浜市市民活動支援センター)

同時開催で、未来を感じる企画として、子育てやまちづくりで使える遊び実演、五感を呼び覚ますワークショップやプチコンサート『パパとボク』が行われました。

## 気になるお店シリーズ

## 龍興楼



藤棚商店街のから久保町よりの中華料理店「龍興楼」、お店を開いて5年目を迎えるそうです。福建省出身のご主人は中華街で20年の経験と仕入れ、仕込み、本料理を自らの目で厳選し、お客さまに安心してもらえるよう心掛けています。日本人の舌に合っているのかお昼時など満席です。気楽に注文できる一品料理から、コースものもあります。2階には20席を超える宴席がありますので、ちょっとした集まりに最適です。宴席をご利用には予約をして欲しいとのこと。

コース料理は1480円から7980円までと幅がありますので好きなコース料理は1480円から7980円までと幅がありますので好きなコースをご注文ください。店頭に並んでいるお持ち帰り用の料理も好評です。また、注文してからあまり待たずに料理が運ばれてくるのも人気の一つです。

辰年の今年、素敵な店名です。ご家族でお気軽にお出かけになってはいかがでしょうか。

## 名人・達人まつりに、どうぞおいでください！ にしく名・達の会 会長 高野圭子

今年も年に1度開催の『西区街の名人・達人まつり』〔2月25日(土)藤棚地区センターで開催〕が近付いてきました！10回目を迎える今回は、「ファッションショー」も開催します。地元の専門学校生徒さんや一般参加の方、にしく名・達の会メンバーが参加します。どんなショーになるのかはお楽しみに！ 模擬店もありますので、1日ごゆっくりとお過ごしいただけます。

区民のみなさんに、私達の活動を紹介し、活用していただき、交流を深められますよう、みなさまのご来場をお待ちしております。



### 稲荷台小学校創立90周年特集

## 取材して藤棚のまちの魅力を伝えよう

稲荷台小学校 5年担任 片桐大樹

今年度稲荷台小学校は創立90周年です。学校が地域とともに歩んできた90年でもあります。そこで5年生の子どもたちは、藤棚新聞の記事作りをお手伝いさせていただくことで、自分たちの住んでいるまちの魅力について伝えたいと考えました。取材することも記事を書くことも初めての経験でしたが、記事作りを通して、改めて藤棚のまちの魅力を実感できました。子どもたちが熱く執筆した記事をぜひご覧ください。

## 藤棚商店街のケーキ屋さん「ふらんすやま」



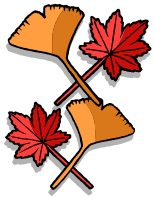
ふらんすやまさんのご主人は、とっても優しい方で、お店のことを熱くお話していました。

ふらんすやまさんは、1964年(47年前)にできたそうです。フランス菓子の頂点に立ちたいという意味で名付けられたそうです。

店内の一階では、ケーキやフランス菓子などを、二階ではコーヒーなどを売っています。藤棚一番街をまっすぐ歩くとふらんすやまさん

はあります。ぜひ行ってみてください。





## ハロー二丁目公園

二丁目公園の歴史、平成21年度、当時の稲荷台小学校の3年生が二丁目公園にあまり人が遊びに来ていないことに気付きました。そして、「きれいで新しい公園にしよう。」と決めました。前の二丁目公園は、虫がいっぱいて、階段がゴミでよごれているときもありました。今は虫もいなくなり、階段もきれいになりました。スロープもでき車いすの人も上り下りができます。二丁目公園のシンボルは、いちょうの木です。



## 願いが叶う願成寺

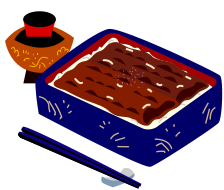


約700年前に願成寺ができました。願成寺には井戸があります。昔旅をしていて、のどがかわいていた行基を亀が井戸まで案内してくれました。亀は長生きしたという言い伝えです。井戸は「延命の井戸」と名付けられました。

今の住職さんは48代目です。一番大変なことは、願成寺を守って次の49代目に渡すことだと言っていました。住職さんは優しい人でどんな質問にも答えてくれます。願いが叶うので、ぜひ行ってみてください。

## うなぎ一番富士屋さん

昭和10年ごろから営業している富士屋さんは、今は草柳恵一さんが店主を務めています。店名の由来は2つあるそうです。1つは、富士山のようにお店が栄えるようになってほしいということです。もう一つはおばあさんの名前が“ふじ”さんだからです。



おいしいうなぎは静岡県の浜名湖から直接仕入れていて、新鮮さを保つためにお店のおくにある井戸で元気にしておいているそうです。おいしいうなぎを、おなかいっぱい食べたいですね。



## ファンシーとんぼ

とんぼさんは、50年前にできたそうです。ちなみにとんぼさんの名前の由来をお聞きしたところ、もともと、「井出平和堂」だったそうです。そして「とんぼ鉛筆会社」さんのかん板があったことで、近所の子どもたちが「とんぼ」というようになって「ファンシーとんぼ」になりました。

とんぼさんは西前商店街にあります。西前小や一本松小の子どもたちもお買い物に来ているそうです。ぜひ「ファンシーとんぼ」さんに行ってみてください。



# 藤棚の商店街を考える

西区東久保町 東朋会 会長 和田泰次



私は東久保町の山の上に生まれ育ち早や 75 年を迎えました。地域のみなさまに支えられて毎日あれこれと忙しく過ごしております。

戦後の昭和 25 年頃は東久保町にもお店屋さんが軒を並べており、生活するには何不自由しませんでした。ですから藤棚へ下るの必要がありませんでした。それが長い年月の間に高齢化やお店も古くなったりして、26 軒あった店も年々減ってきて今では 5 軒になってしまいました。

そのために今ではお年寄りが 1 時間に 1 本のバスを利用して藤棚に買い物や風呂に行くのです。そしてあの賑やかだった藤棚のサンモール、藤棚商店街、ニコニコ商店街も年々店が消えていって、大手スーパー、

コンビニなどに客足が向けられて空き店舗が増えてきて代わりに医療関係が伸びてくるように思われます。

そこで私は、これから先はどんな街にしたいのかを話し合っ、3 商店街を合併して商店街の名称も改めて再スタートすることを提案します。それはおいそれとはまとまる話ではないでしょうが、各店主がいろいろとこだわっているのは決して発展しないでしょう。商店街に詳しいコンサルタントの知恵を借りて各店の代表を集めて話し合ひましょう。名称は公募して、ニュー藤棚 などにしてもよいと思います。現状のままでは完全に行き詰まるでしょう。夢のある楽しい買い物ができる商店街に発展することを私たちお客は切に願っています。



## こんにちは、グループ！ 書道教室「錦葉会」

もう 10 年は過ぎましたねとおっしゃるのはご指導なさっている田村緑香先生。先生が手本を書き、生徒さんをご自宅で清書してきたものを添削します。ご指導は筆の使い方や文字の特徴を示しています。書が初めての方から、古典や仮名そして実用的な書までと幅が広いようです。年配の生徒さんが「奥の細道」を書いていました。「月一回のお稽古が楽しく張り合いになっている」とおっしゃっていました。静かでそれでいて暖かい書道教室です。

教室は月初めの水曜日(3 月は 7 日) 会場は藤棚地区センターの小会議室、お問い合わせは・電話 242-6992 (田村先生宅)



### < 藤棚新聞のホームページを試験開設 >

<http://www1.ttmy.ne.jp/fujidana>

今までの藤棚新聞や『「西区歴史さんぽみち」を巡って』をご覧ください。



## 反射材で夜の交通安全！

夜、無灯火で車道を逆走する自転車を見かけます。とても危険ですね。歩いて出かけるときは反射材を着けて、自転車はライトを早めに点灯しましょう。右の写真のようなストラップ型の反射材はチラチラと遠くの車からも見えます。



昼でも道路を横断するときや「止まれ」の標識のあるところでは、ちょっと立ち止まる習慣をつけるとぐっと安全になります。警察も応援していますよ。

## 「沖縄フェスティバル with フリーマーケット」



4 月 8 日(日)13 時~17 時半 ニライカナイ店頭  
いつもの「エイサー」や「三線ライブ」と「フリーマーケット」が一緒に楽しんで頂ける、とってもおススメ!!なイベントです。タコライスやおでんも販売します。フリーマーケットへの参加受付中です。

ぜひご参加ください!

< 次回エイサーライブ 5/3 予定 >

お問合せは「ニライカナイ」

TEL/FAX (045)261-0258



いっしょに藤棚新聞を作りませんか。取材・写真・編集・印刷・配布のどれでもできます。広告の掲載も募集しています。下記の藤棚新聞運営委員会にご連絡ください。

【発行】藤棚新聞運営委員会 〒220-0053 横浜市西区藤棚町 1-99-4【電話/ファクス】045-261-1052